

令和6（2024）年度		学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書		<様式11-1>
活動の基本目標（指針）		主 な 取 組 名		成 果 と 課 題
生活 援助 機能	安全・衛生の確保	手洗い・手指の消毒	毎日の手洗いは食事（おやつ&お昼ご飯）前は必ず職員が手洗い場につくようにしていた。外遊びから帰ってきたときなどは自主性に任せていた。この習慣を子どもが理解することでしっかり洗わないという意識もついた。ハンカチの持参も毎回呼びかけることで自分のハンカチで拭く児童も増えていった。手指の消毒は基本おやつ時に消毒しておやつをもらうので癖になり、ほぼ全員が行っている。来年度は職員も含めハンカチ持参で手洗いすることを伝えていきたい。	市原野児童館
	健康の管理・情緒の安定	挨拶の励行	登下館の挨拶を職員から元気にする一方で、子どもたちからの自然と大きな声で返してくれた。また、保護者の方への挨拶も丁寧に大きな声ですることになっている。その中で信頼関係が生まれ、みんなが話しやすい空間作りができていた。今後も職員が元気な挨拶ができるよう日ごろから意識していく。	
		おやつ提供	子どもたちの好みや提供したおやつ感想を聞き、いつもおやつ時間が楽しくなるよう心掛けた。季節のものや新商品、また、予定を気候に合わせて、柔軟に変更したりもした。また、誕生日はスペシャルおやつにして特別感を出したり工夫もした。その中でおやつで子どもとの距離も近くなり、評判もよかった。今後も対話しながら、楽しいおやつ時間にしていきたい。アレルギーに関しては、昼の職員会議や担当職員のダブルチェックを欠かすことなく、安全にはしっかりと配慮していく。	
		整理整頓・道具、おもちゃの片付け指導	自分が使ったものの片付けだけは常に終わったら片付けなさいと呼びかけていたが、「自分は使っていない」という言葉が頻りに飛び交っていた。自分が使った使っていないではなく、この場所が片付いてない方がいいのかということもその都度伝えてはきたが、改善には至らなかった。ただ、子ども中には通りすがりでブロックなどを片付けていく子もいて、そんな時はおいにほめる。そうすると、周りにいた教人も気づき一緒に片付けられる姿が増えていった。なので、自分の使った分の片付けというより、いつも自分たちが使う部屋がいつも整頓されていることが素敵なことだと感じるようにこれからも指導していく。	
	基本的生活習慣の確立	持ち物の自己管理	声掛けを徹底しても、持ち物の自己管理はなかなかうまくいかないことが多くあった。例えば、靴下や水筒は活動している場所にどうしても置きがちで、なかなか自分のロッカーにしまうことは少なかった。声掛けだけでは足りない反省。見えるものの呼びかけや自己管理が習慣化するよう様々な工夫をこれからも模索し、何度でも実行に移していく。	
		学習の習慣化	学年が上がることや、周りを取り掛かっているのを見て少しずつ宿題を早めに済ませておこう雰囲気も広がってきた。5時からは特に先に宿題からなど張り紙で呼びかけていたが、おやつあと自主的に宿題をすることがいるなかで、「すぐに宿題は始めるんやなあ。ここで宿題終わると家でゆっくりできるもんね。」などほめていくと、自分もやろうかなという動きも出て少しずつ自主的に宿題をすることがひろまりつつある。最近では職員から宿題に関しては聞いていない。言われてすることの窮屈さ、自主的にすることの心のゆとりを職員も子どもから感じ取りこの調子で子どもの後押しをしてあげるスタンスで応援していく。	
		長期休暇中の学習の時間	朝9:10～9:45の時間を学習の時間とした。時間は以前より少し短くした。また、学習に限らず、ひとりで向き合えるものならばなんでもいいと幅を広げたところにより、落ち着いて取り組んでおり、概ね静かにできていた。個人的に集中できない児童に関しては、静かに取り組めるものをこちらから提案し学習時間を充実させていきたい。	
		長期休暇中の午睡	昼食後、身体や頭を休めることをねらいとした時間であることから、育成室で昼寝をする子が多くなりつつある。大概はきちんと睡眠をとっている。午後からの活動には体を休めることは大切なのでもっと気軽に昼寝を推奨していてもいいかもしれない。	
	社会生活技術の獲得	夏休み高学年の取り組み	学校の長期休暇中、児童館内でお昼ご飯後に高学年が各部屋の掃除（掃除機&雑巾がけ&モップ）を行うことにより、高学年の時間を確保し、僅かな時間でもリフレッシュできているように感じる。毎日の掃除も習慣になり、小言を言いながらも続けてくれた。また、たまに職員が雑巾がけなどにはいることにより、掃除の時間であっても楽しい時間としてとらえ、自己満足感を高めていってあげたい。	
		当番活動	1年を通して班活動は「帰りの会の司会」「長期休みの時の児童館内の整理整頓と食事、おやつ準備」があった。帰りの会では、司会をしてもみんながだらだらとしているせいで、きているみんなもだらげることが頻繁だった。来年度は司会の担当になればしっかりと役割をこなすというのを第一に短い帰りの会を引き締めていけるように工夫していく。また、長期休みの時の児童館内の整理整頓と食事、おやつ準備に関しては班ごとにそれぞれが意識を持ち出来ていた。	
	高学年会議	会議を週〇回、月〇回と固定せず、必要に応じて開いた。高学年の企画の時には積極的に取り組んでいるので、今後もサポートしていきたい。		

子ども育成機能	生活体験の拡大	児童館ツアー（新入生のみ）	まだ、児童館に慣れていない新1年生を職員がそれぞれの部屋を案内した。今後は高学年にまかせてもいいのではないかと思う。	
		全体班会議	新年度新しい班ができ、メンバーと顔を合わせ、自己紹介をし、班の名前を考える。なかなかまとまらない班は職員が間に入り、サポートしていく。	
		班あそび	4月1日から1週間。新しい班に新1年生が入り班ごとにみんな遊びをする。新1年生がより早く児童館に慣れ、過ごしやすくなるため2年生上の児童と一緒にゲームを楽しむ。まだまだ馴染めていない新1年生への声掛けやどんなことでも話してくれる雰囲気づくりを工夫する。	
		“ようこそ新入生”に向けた取り組み	高学年を中心に新1年生に向け、お祝いの「プラ版づくり」を積極的にする。できるだけ気に入ってもらえるようこっそりと好きなキャラクターを聞き出す様子に心の温かさを感じた。だれかにしてあげる喜びを下級生にも伝えていけるよう職員も協力していく。	
		3年生会議	会議を週〇回、月〇回と固定せず、必要に応じて開いた。個性の強い学年なのでぶつかることもたびたびではあった。協力して作り上げることの大切さ、仲間意識など少しずつでも伝えていけるようこちらも寄り添う。	
		ようこそ新入生（入会式）	コンセプトは「楽しいアットホームな入会式」ということで名前も「ようこそ新入生」とした。準備してきたことを前に出て言うことは緊張するけれど頑張っていた。あたたかく新1年生を迎える気持ちは皆にありいい式になった。来年度もアットホーム感のままみんなを迎える入会式になるよう在籍生のアイデアもうまく吸い上げみんなで作り上げたい。	
		お誕生会	いつものお誕生会にはない班対抗のゲームを取り入れた。なかなか、全体で遊ぶことも少ないので月1のお誕生会のゲームは盛り上がった。班ごとの団結も生まれた班もあり、チームで勝利を分かち合う場面も多く見られた。楽しみしてくれるお誕生会になった。また、今年特性の「空気砲」も盛り上げに役買った。来年度もみんなが楽しみにしてくれるお誕生会になるようにしていきたい。	
		おさんぽ	今年度初めて土曜の学童クラブ登録の児童と毎月1回おでかけすることをした。おでかけがてら、外でお弁当を食べた。場所は近くの公園などにした。季節により熱中症の危険もあったのでおでかけの時間帯は十分に配慮し、子どもたちの意見もききながら、行く場所を決めたりした。短時間ではあったがそれなりに解放感もあり楽しんでいた。極端に暑い、寒いというのは外ということもあり配慮が必要だと感じた。	
		自立の促進と自主性の尊重	すこやかミニデイに向けた取り組み	今年度初めての試み7月と8月に1回ずつ地域の高齢者と関わる機会ができた。高齢者と一緒に遊びと通じて楽しい時間を過ごすというもので、子どもたちなりの工夫をしていた。夏祭りに踊った「炭坑節」の時には高齢者の皆さんも一緒に踊ってくれてみんなも嬉しそうだった。地域とのかかわりはみんなの気持ちを温かくしてくれるのでぜひ来年度もこういう機会を望む。
			高学年による企画あそび	今年度の高学年の企画としては夏の親子企画の中で「きもだめし」をした。去年までは児童館だったが、いつもお世話になっている恵光寺の協力のもとでできるとあって気合も十分だった。きもだめしが苦手が1年生もいるのでそんな子にも楽しめる工夫もしていた。たくさん協力が優しさの中でできたことに感謝することを伝える。脅かす自分たちも楽しめる企画となり満足できた。来年度も高学年がのアイデアが光る企画と一緒に考えていきたい。
		こどもまつりに向けた取り組み	今年度のこどもまつりも“自分たちがしたいこと”を出店する形となった。それに向けた準備もそれぞれの子どものペースに合わせて時間をとり、丁寧に行った。当日はあいにくの雨になったが、狭い館内を譲り合い、自分の役割をこなしてお客さんを喜ばせていた。“したいこと”が見つけられなかったり、進め方が分からなかった児童には職員が寄り添い進める。当日はどの子にも達成感があったようで、思い出に残る取り組みとなった。	
		「はばたけ修了生」	今年度も堅苦しくないスタイルで行う。修了生の入会の時の写真を見てインタビュー、みんなからの歌のプレゼントなど楽しく過ごした。新しくしたことは修了証書を花束風にして中を開くと思い出の写真やメッセージ、修了証書が一緒になったものし、飾ってもらえる形にした。最後はみんなとハイタッチしながら退場し祝福の中、児童館にお別れをした。来年度も子どもたちの心に残る修了式になるようにアイデアを考えていきたい。	
		おたのしみランチ会	今年度よりおやつ代の返金がなくなったことでランチ会をたくさん開催することができた。夏休みには近くのパン屋さんのパンランチと3年生が企画・準備してくれる「マックのランチ」。この時は全力で3年生がおもてなしをしてくれました。冬休みにもまたまたパンランチとカレーランチ、春休みはおにぎりとお吸い物ランチをした。保護者会費からも2回協力していただいた。おいしい笑顔がたくさん見られたことはよかった。このランチ会で初めて食べた食材もあったり子どもたちにとっても思い出に残るひと時になった。来年度もおやつ代を工夫して楽しいランチ会を開きたい。	
	子育てに必要な情報の提供と交換	保護者懇談会	年に4回（4月・7月・12月・3月）遊戯室で行う。子どもたちの児童館での様子をスクリーンで鑑賞。今後の予定についての案内もする。保護者同士の少ない顔合わせの行事なのでできるだけ多くの保護者に来ていただきたくあまり長い時間にならないように配慮もした。いつも参加率はよかった。4月と3月の懇談会の時には終了後に保護者会の総会も行う。	
		個人懇談	5月（新入生のみ対象）と12月（希望者のみ対象）で行った。さくらdaysのアンケート機能より出欠をとった。希望者のみで行ったことにより、普段あまり話せなかった保護者ともゆっくり話す機会を設けることができた。	

子育て支援機能		入会説明会	夜に開催する。多くの世帯が新1年生になる児童をつれての参加となった。子どもたちは別の部屋で預かるようにした。なるべくなら、保護者のみでの参加がのぞましいのでおしらせの内容を今後は工夫する。
		保育参加	子どもたちの児童館での普段の様子をご覧いただけるよう、今年度保育参加を取り入れた。期間中3名の保護者が参加してくださり、コミュニケーションをはかるよい機会にもなった。来年度も気軽に子どもにまごって遊んだりしてもらう場を提供していきたい。
		親子企画	職員の負担も考えて、今年度は夏休みに夕方から夜にかけて行った。一度帰宅後、改めて保護者とともに登館し、手作りのカレーライスを食べ、高学年企画による「きもだめし」、花火などをして親子で楽しんだ。時間的に少ない中、したいことはたくさんあったので少しタイトなスケジュールになった。あと片付けまでを考えると保護者会にも負担があり、来年は工夫をしていきたい。しかし、ボランティアの助けもあり、思い出にのこる親子企画になった。
		学童クラブ登録前説明会	19時～20時に開催する。6世帯（保護者6名＋幼児4名）参加。告知の仕方にもう少し工夫が必要だったように思うので改善していく。
		子育ての仲間づくり	
		子育てを支えるネットワーク形成	